

27PE-pm063

理札氏薬物学(第五卷)にみる薬物

○澤田 采佳⁴, 小松 直登³, 木村 壮太郎², 林 優樹⁷, 森田 祐基⁵, 西野 ゆり⁶, 西野 正雄⁷, 菰田 綾佳², 宮本 如奈¹, 高倉 弘士⁸, 畠山 有理⁹(¹同志社(文), ²府立藤井寺高校, ³府立東住吉高校, ⁴府立西浦高校, ⁵科学技術学園高校, ⁶府立長野高校, ⁷府立富田林高校, ⁸立命館大学大学院(社), ⁹長崎大学(薬))

「はじめに」・・・明治五年に刊行された理札氏薬物学は、アメリカの戒施理札著、備後福山の小林義直訳の一五冊一七巻の書物である。第五巻全文を解読し紹介する。

「内容」・・・理札氏薬物学は、一六巻で構成されている。漢字とカタカナ、時にカタカナを付けた英語により表記されている。巻五の鉱物性の強壯剤では、鉄、抱水酸化鉄、次炭酸鉄、硫酸鉄(緑礬)、三重硫酸鉄溶液(次硫酸鉄溶液、硫酸鉄加アンモニア)、コロイド鉄、ヨウ化鉄(ヨウ化鉄糖煉、ヨウ化鉄丸)、酒酸鉄カリ、酒酸鉄アンモニア、リン酸鉄(二基礎リン酸鉄)、硝酸鉄、クエン酸鉄、鉄シアン化鉄、乳酸鉄(酢酸鉄、砒酸鉄、シュウ化鉄、吉草酸鉄)、銅、硫酸銅、銅アンモニア錯体、次酢酸銅、硝酸銅、銀、硝酸銀、酸化銀、シアン銀、コロイド銀、亜鉛、硫酸亜鉛、酢酸亜鉛、酸化亜鉛(亜鉛花軟膏)、炭酸亜鉛(炭酸亜鉛蠟膏)、吉草酸亜鉛、ヨウ化亜鉛、乳酸亜鉛、カドミウム、硫酸カドミウム、ヨウ化カドミウム、ビスマス、次硝酸ビスマス、次炭酸ビスマス、(クエン酸ビスマス加アンモニア、タンニン酸ビスマス、吉草酸ビスマス)、黒酸化マンガン、硫酸マンガン、シュウ酸セリウム(硝酸セリウム)、硫酸ニッケル、硫酸(希硫酸、芳香硫酸)、硝酸、塩酸、王水を記載。

「考察」・・・鉱物性の強壯薬の作用は植物強壯薬と比較し、胃から吸収され血中に移行して全身の機能を興奮させるため、長期間服用しなければ効果が得られない。それぞれの作用力の強弱は薬品により異なるとあり、硫酸カドミウムの薬効に「硫酸亜鉛に似て、その力が非常に強く、専ら眼の神経病及び炎症の洗浄薬として使用し、耳炎では注射薬として用いる」と説明されていて今日では使用しない例が見られる。